

(資料:年表) 母校・双松会と近畿双松会の歩み

年	西暦	母校・双松会	近畿双松会	
明治9年	1876	教員伝習校(殿町)に変則中学科創設	大正以前から、大阪に現在の近畿島根県人会の前身である(社)島根県友会があり、第二代の理事長に四方田保氏(中20)が就任、(中略)その県友会に松江中学出身者が多かったことから四方田氏が結成を主唱・・・ (米村又男氏(中34)の「回顧茫々」より) (伝・大正末～昭和初期) 近畿双松会設立(第一次) 会長: 四方田 保(中20) <戦争による活動の中断>	
明治10年	1877	松江中学として独立		
明治12年	1879	殿町(現在の市町村振興センター)に松江師範学校と共用の新校舎竣工		
明治17年	1884	島根県第一中学校と改称		
明治19年	1886	島根県尋常中学校と改称		
明治20年	1887	独立校舎竣工(現在の殿町県警本部付近)		
明治22年	1889	<松江都市制施行、人口35,804人(全国22位)>		
明治23年	1890	ラフカディオ・ハーン、英語教師として着任		
明治26年	1893	島根県第一尋常中学校と改称		
明治30年	1897	赤山校舎の新築・移転。通信教育部、県立松江工業高校より移管 ★松江公立高等女学校創立		
明治34年	1901	島根県立第一中学校と改称		
明治40年	1906	島根県立松江中学校と改称。校旗の制定 ★島根県立松江高等女学校に昇格		
明治44年	1910	●松江公立女子技芸学校創立		
大正3年	1914	起雲館竣工		
大正12年	1923	◆松操高等女学校創立		
昭和2年	1927	●松江公立家政高等女学校に改称		
昭和15年	1940	赤山台上に校舎改築・落成		
昭和16年	1941	●松江公立高等女学校に昇格		
昭和23年	1948	学制改革により島根県立松江第一高等学校と改称 5月火災により校舎全焼、12月新校舎落成 ★島根県立松江第二高等学校開校(◆松操高女統合) ●松江公立高等学校開校		<戦後>
昭和24年	1949	松江一高、二高(旧県高女・松操高女)、市立高校(旧市立高女)の三校を統合し、島根県立松江高等学校として発足・旧松江一高を北校舎、旧松江二高を南校舎とす。		
昭和25年	1950	赤山の北校舎を廃し、西川津町の南校舎を大増築して実質統合(赤山と離別)		
昭和28年	1953	校歌制定(作詞 土岐善麿、作曲 高田三郎)		
昭和29年	1954	定時制宍道分校を設置		
昭和30年	1955	通信教育部、県立松江工業高校より移管		
昭和33年	1958		昭和33年活動再開、近畿双松会設立(第二次) ・初代会長 永岡孝二(中42) 昭和33年～昭和53年	
昭和36年	1961	島根県立松江高等学校の二分化により島根県立松江北高等学校と改称。島根県立松江南高等学校創設。 被服科を廃止し、定時制宍道分校を南高に移管 通信教育部を島根県立松江北高等学校通信制課程と改称		
昭和41年	1966	創立90周年記念式典を挙 PTAにより補習科設立		
昭和42年	1967		★昭和42年 近畿松江高校・松江北高校同窓会発足 ・会長 和田亮介(高1) (～平成3年頃、発展的解消)	
昭和43年	1968	理数科設置 校舎移転改築期成同盟会結成	昭和43年、10周年記念総会挙	
昭和50年	1975	新校舎地鎮祭(赤山)		
昭和51年	1976	「松江北高等学校百年史」を刊行		
昭和53年	1978	西川津校舎で離校式を行い、赤山新校舎に移転 創立100周年並びに校舎・起雲館竣工記念式典を挙 (100周年記念会館を「起雲館」と命名)	・二代会長 山根誠(中46) 昭和53年～昭和59年	
昭和54年	1979	双松会、松高北高同窓会が合併し、「双松会」を創立 7月、西川津校舎跡地之碑の除幕式		
昭和58年	1983	市内校区再編成により島根県立松江東高等学校創設 (市内に北・南・東の3普通高校鼎立)	昭和58年、25周年記念総会挙 (推定)会則変更し、旧中・松高・北高の三校大合同の組織基盤確定	
昭和59年	1984		・三代会長 横山春樹(中55) 昭和59年～昭和63年	
昭和61年	1986	創立110周年記念式典を挙	この頃から行楽会(バスツアー)を開催	
昭和62年	1987	双松(二本のうち的一本)訣別・新生式典を挙		
昭和63年	1988		・四代会長 児玉治利(中61) 昭和63年～平成8年	
平成3年	1991	創立115周年記念式典を挙	★平成3年頃、三校同窓会大合同完了 (近畿松江高校・松江北高校同窓会は発展的解消)	
平成4年	1992		第一回ゴルフコンペを開催(以降継続)	

年	西暦	母校・双松会	近畿双松会
平成5年	1993		35周年記念会報発行
平成6年	1994	通信制体育館(現在の第2体育館)竣工	
平成8年	1996	創立120周年記念式典を挙	・五代会長 和田亮介(高1) 平成8年～平成14年
平成9年	1997	通信制黒田校舎開校式	
平成10年	1998		10月25日:設立40周年記念総会
平成13年	2001	双松(残る一本)訣別式典を挙 行 創立125周年記念式典を挙 行	
平成14年	2002	3月 選抜高校野球21世紀枠出場(55年ぶり2度目)	3月 選抜高校野球21世紀枠出場を応援 ・六代会長 山本雅昭(高7) 平成14年～平成19年 北高世代会員の入会促進運動開始
平成15年	2003		45周年記念会報発行
平成17年	2005		ホームページを本格リニューアル(以降継続) 行楽会(バスツアー)を終了(天川村)
平成18年	2006	創立130周年記念式典を挙	第一回歴史ウォーキング開催(以降継続) 第一回文楽鑑賞会開催(以降継続)
平成19年	2007		8月、辰巳悦加(高51)の世界陸上大阪大会出場を応援 ・七代会長 永江幹雄(高13) 平成19年～21年
平成20年	2008		11月30日 設立50周年記念総会(於:太閤園) 50周年記念会報発行、慶弔規定を廃止 第一回落語鑑賞会開催(以降継続)
平成21年	2009	双松会の新会長に庄司肇氏(高11)就任	・八代会長 押田良樹(高11) 平成21～26年 運営方針の明確化(5年に一度の周年行事を”核”に) 東京双松会との交流を開始
平成22年	2010	双松の東(右)側の松を植樹 通信制課程を、県立宍道高校へ移転	総会を初めて大阪市中央公会堂で開催 世代を超えた交流の強化(小・中学校、クラブ等の情報提供要請)
平成23年	2011	創立135周年記念式典を挙	第一回里山歩くぞ!ハイキング開催(以降継続)
平成24年	2012	松江北高校通信制課程の閉課程式を挙 行 12月、双松の東(右)側の松を雪、松くい虫の被害により撤去	11月総会で会則改訂を承認(卒業生全員が会員) 会員名簿の発行の廃止
平成25年	2013	平成26年1月、西川津校舎跡地之碑、現在地に移動	4月 新会則の運用(会費を「運営費」支援に変更) 12月8日 設立55周年記念総会(於:大阪市中央公会堂) 55周年謝恩大福引き大会実施 55周年記念会報発行
平成26年	2014	4月12日、双松の東(右)側の松(三代目)の植樹祭	九代会長 松本耕司(高16) 平成26年～令和5年
平成27年	2015	双松会の新会長に金津任紀氏(高16)就任	平成28年3月、新しく北高野球部の大阪遠征を応援
平成28年	2016	学級数減(普通科6、理数科1の7学級に) 11月12日、創立140周年記念式典を挙 行 ・「世界の人たれ北高生!基金」創設 3年福田翔子、日本陸上・高校総体の女子800m二大会制覇 3年寺井萌乃、高校総文、百人一首読手部門、高校日本一	新しく”次代につなぐ”同期会の開催支援を開始(以降継続)
平成29年	2017	10月、双松の東(右)側の松を松くい虫被害により撤去	平成30年1月、新しく宝塚歌劇鑑賞会を開始。(以降継続)
平成30年	2018	学級数減完了、3学年840名体制。 H31、3、24 双松、東(右)側の松の植樹式	12月2日 設立60周年記念総会(於:中央電気倶楽部) 60周年謝恩大福引き大会実施 60周年記念会報発行
平成31年 令和1年	2019		令和2年1月10日、「メールマガジン”さんみゃくうかびて”第1号配信 令和2年3月、新型コロナのため落語鑑賞会開催を中止
令和2年	2020	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、緊急事態宣言発令 4月15日～5月31日臨時休業	新型コロナ感染禍のため総会、各行事を中止(会報は発行)
令和3年	2021	普通科の松江市内通学区撤廃(初年度は定員割れ) 7月7日～9日の三日間、豪雨により臨時休校 双松会ホームページの運用開始 11月13日、創立145周年記念式典を挙 行(縮小開催)	新型コロナ感染禍のため総会、各行事を中止(会報は発行) 新「双松」名簿発刊に合わせ近畿在住者名簿を更新 令和4年1月、新役員体制発足(事務局長に宍道弘志氏・高31) 同、緊急事態下での運営を可能にする会則の改訂
令和4年	2022	普通科に推薦選抜入試(5名)制度を導入 普通科2年生に「近畿研修制度」を導入 年度後半、コロナ禍から漸く落ち着いた学校生活に	6月、役員会を3年ぶりに開催 7月、文楽鑑賞会を3年ぶりに開催 10月、「新”ハイキングを3年ぶり開催(ウォーキングとハイキング統合) 11月、「総会・講演会・懇親会」を3年ぶりに開催
令和5年	2023	双松会の新会長に櫻井誠己氏(高20)就任 3年門脇早紀、全日本学生音楽コンクール全国大会 声楽部門 高校の部 第1位 令和6年1月、起雲館(卒業生会館)、老朽化で大量の雨漏り ・基本的改修必至の状況 令和6年3月、門脇早紀が選抜高校野球開会式で国家独唱	新型コロナ感染禍の区切りもつき、各行事を順次開催 ”次代につなぐ”同期会活動の開催を支援 12月10日 設立65周年記念総会(於:中央電気倶楽部) 65周年謝恩大福引き大会実施 65周年記念会報発行 十代会長 徳田完二(高24) 令和5年～